

自己設計科目

- 自らが卒業したときに「何を勉強して、何が身に付いているのか」を相手に説明できる科目.
- 各コースのカリキュラムフローが核となる.
- 自己設計科目は、全て卒業要件単位124に含まれる.
- 自己設計科目の単位数は20で良い.
- 厳選した20単位であるべき.
- 4年生前期の科目も含めて検討する.

自己設計科目の決め方1

- カリキュラムフローを利用する。
自プログラムの展開科目を中心自己設計科目として宣言する。
- 関連する同学科他プログラムの基本科目、準基本科目、展開科目から選択する。
- 受講時間に余裕があり、カリキュラムフロー中の科目が十分に理解できていると自ら判断出来る場合、他学科科目も検討範囲に加える。チューター教員と相談すると良い。ただし、他系・他学科科目は、最大20単位までしか卒業単位には認められない。

自己設計科目の決め方2

- 同学科他プログラムの基本科目、準基本科目であっても、自プログラムの基本科目、準基本科目に指定されている場合には、自己設計科目として指定することは出来ない。
- 他学科科目も履修可能ではあるが、電気電子工学科としては、自学科から履修し、専門知識を深めることを勧める。
- 他学科科目は20単位を超えて申請しても、卒業要件単位には認められない。

自己設計科目の取り扱い及び登録

● 履修登録

自己設計科目は、**学生の意志表示が必要**であること。

履修登録時に意思表示がない場合の取り扱い

- ・自プログラムの授業科目；専門教育科目の履修となる。
- ・他プログラム・他学科の授業科目；卒業に必要な単位数と認めない。

● 修得単位

専門教育科目の**卒業に必要な単位数『74単位』**のうち、自己設計科目（上記の意志表示した科目）として**『20単位』**が必要であること。

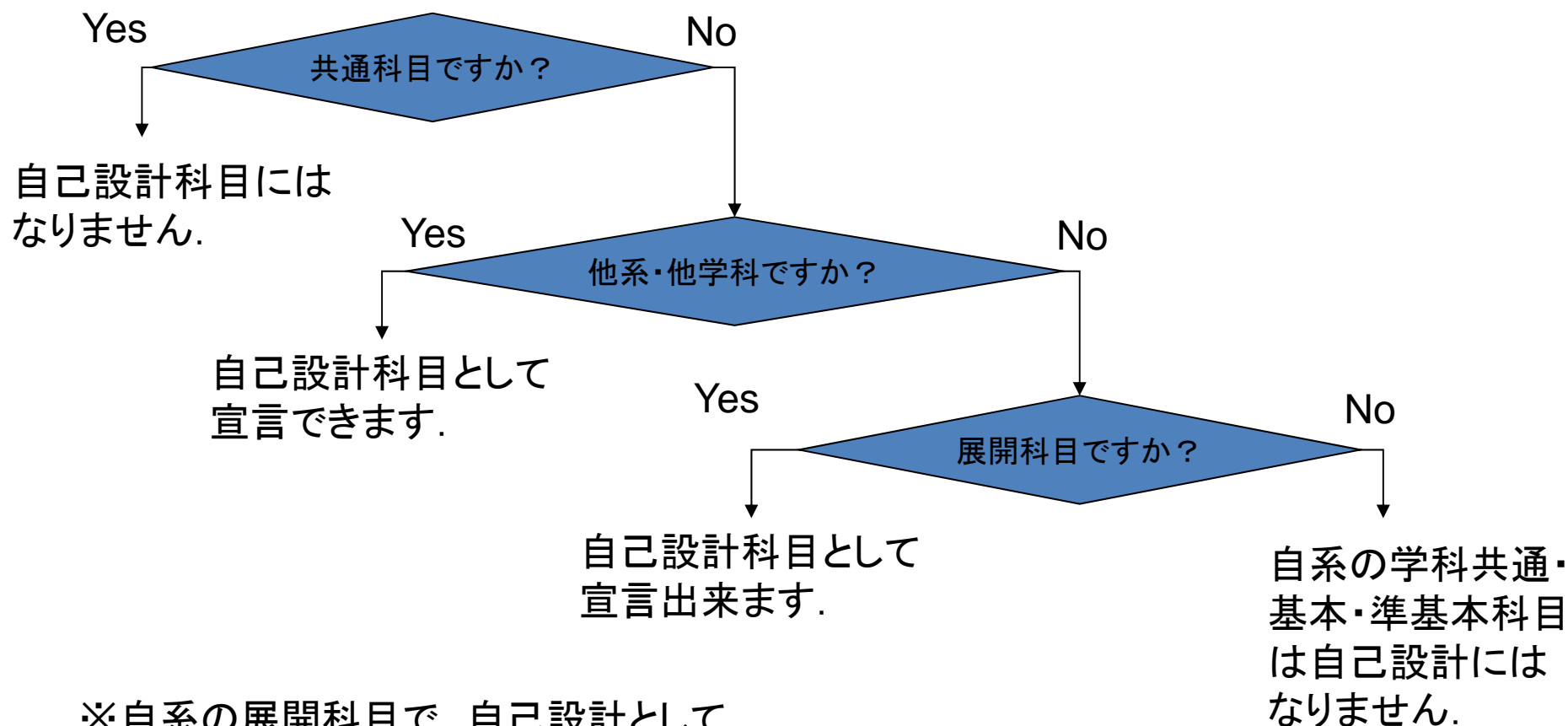
自己設計科目の履修範囲

- ・自プログラムの展開科目（必須科目とされている科目を除く）
- ・所属学科の他プログラムの基本科目、準基本科目、展開科目
- ・所属学科以外の学科の基本科目、準基本科目、展開科目

『20単位』の考え方

- ・自プログラムの展開科目で20単位を取得
 - ・自プログラムの展開科目＋他プログラム(又は他学科、及び他学科)で20単位を取得
- * 履修登録で20単位を超えて自己設計科目として申告し、20単位以上の単位を修得した場合の取扱い
- ・自プログラムの展開科目のみの場合
20単位を超えた単位数は、自己設計科目以外の専門教育科目の単位数とする。
 - ・自プログラムと他プログラム又は(及び)他学科にまたがる場合
20単位を超えた単位数のうち、自プログラムの展開科目に係る単位は、
自己設計科目以外の専門教育科目の単位数とする。
 - ・他プログラムのみ、又は他プログラムと他学科の場合
20単位を超えた単位は、卒業に必要な単位に含めない。

自己設計科目履修宣言方法



※自系の展開科目で、自己設計として宣言した場合にも、自系の展開科目として、卒業単位として認められます。

(例)機能電子系プログラム 自己設計科目となりうるは・・・

緑の科目です

機能電子系ルート図上の科目

2年生前期

2年生後期

電気回路Ⅰ	2	電気回路Ⅱ	2
電気磁気学Ⅰ	2	電気磁気学Ⅱ	2
電子回路Ⅰ	2	電子回路Ⅱ	2
半導体物性	2	量子力学Ⅰ	2
熱統計力学	2	情報理論	2
確率・統計	2	デジタル電子回路	2
ベクトル解析	2	制御工学	2
複素解析	2	振動波動	2
物理学実験	2	電気電子工学基礎実験	2